

2014年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	国際経営論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	河 知延						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の進展について経済、経営の両側面の違いを説明できる。 ・グローバル化が進む中で、日本企業が直面している問題点について説明できる。 ・日本企業が海外進出によって直面している課題について説明できる。 ・国際的な事業活動の際に必要な管理能力について説明できる。 						
日程と内容	第1回：導入講義（授業の進め方と概要の説明、成績評価法） 第2回：グローバル化の進展（企業の国際化） 第3回：グローバル化の進展（多国籍化、グローバル化） 第4回：国際経営戦略の内容(1) 第5回：国際経営戦略の内容(2) 第6回：国際経営組織の構造(1) 第7回：国際経営組織の構造(2) 第8回：国際マーケティング(1) 第9回：国際マーケティング(2) 第10回：国際マーケティング(3) 第11回：海外生産 第12回：技術移転と海外研究開発 第13回：北米・欧州・アジアのなかの日本企業 第14回：グループ報告会 第15回：総括（問題点と今後の展開）						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション				
	課題	20%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	授業はシラバス通りに進めることができたし、受験者の96%は合格することが出来たために、大方授業到達目標の達成度は高いと言える。						
反省点	全体的に理解力は向上したと思うが、レポート点の配点が高かったために、実践的に授業内容を使えるほどには至っていない。また、国際経験が殆どない学生が多く、教員の説明だけでは理解することが難しいことも多かった。						
来年度の計画	次年度はビデオ等で企業の国際活動を理解し、国際経験を疑似体験できるようなことを授業の中に盛り込みたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートでは分かりやすかったがレポートが多いというコメントが殆どであった。大方満足しているようであるが、レポート課題は小テストに代替するなど、配慮したいと思う。項目別には全て平均を上回り、教員評価では8.7であったので問題ないと思う。						
履修登録者数	63名	定期試験 受験者数	52名	合格者数	50名	合格率	96%